

平成24年2月7日

株式会社 山陰合同銀行

とっつりの森「カーボン・オフセット」パートナー協定調印式開催について ～鳥取県造林公社の保有するJ-VERを同時購入する初めての取組～

山陰合同銀行(頭取 久保田 一朗)では、地域貢献・地域環境保全の取り組みを推進するなかで、平成24年2月13日(月)に鳥取県(知事 平井 伸治)と水野商事株式会社(代表取締役 水野 一水、鳥取市)との間に「とっつりの森『カーボン・オフセット』パートナー協定」(以下、「本協定」という。)を締結し、同日、調印式(別紙)が行われることとなりましたのでお知らせいたします。

鳥取県では、オフセット・クレジット(以下、「J-VER」という。)制度を早くから積極的に活用し、県有林の整備・保全に取り組んでおられます。また、この鳥取県の取組は県内の林業関係者・事業者等へ波及し、現在、県内において6事業が登録されています。さらに、新たなJ-VER事業登録に向けた事業者への支援も積極的に行っておられます。

水野商事株式会社は、当地リネン業最大手として、鳥取県全域はもとより島根県東部及び但馬地方の一部まで、広域にわたり積極的な営業展開をしておられます。また、業種特性として化石燃料の使用が多いため、少しでも環境負荷を低減させるために、高効率ボイラーの導入等を進めておられます。

本件におきましては、「鳥取県J-VER地域コーディネーター」としての活動を実践するなかで、当行の紹介により、リネン業界では初めて水野商事株式会社が鳥取県の保有するJ-VERを50t-CO2購入されることとなったものです。また、今回は鳥取県内で最大のクレジット保有事業者である財団法人鳥取県造林公社からも50t-CO2を県内企業として初めて購入されます。これにより、県内企業として“初”の「J-VERとっつりの森を守る優良企業」(県外企業も含めると第3号認定)として認定されます。

水野商事株式会社は、購入したJ-VERを活用し、自社で所有する社用車(ガソリン使用車)から排出される二酸化炭素の全てを自主的にオフセットすることで、環境に配慮した営業活動を強化されます。また、当社従業員が通勤時に排出する二酸化炭素の一部をオフセットする取組も合わせて実施されるものです。

当行は、環境経営・CSRとしての取り組みを推進される地元企業等への積極的なJ-VER制度のご案内と、J-VERを活用したカーボン・オフセットの提案による企業価値向上の取組支援を通じ、地域環境保全並びに地域経済活性化に資する活動を引き続き推進してまいります。

<次頁に続く>

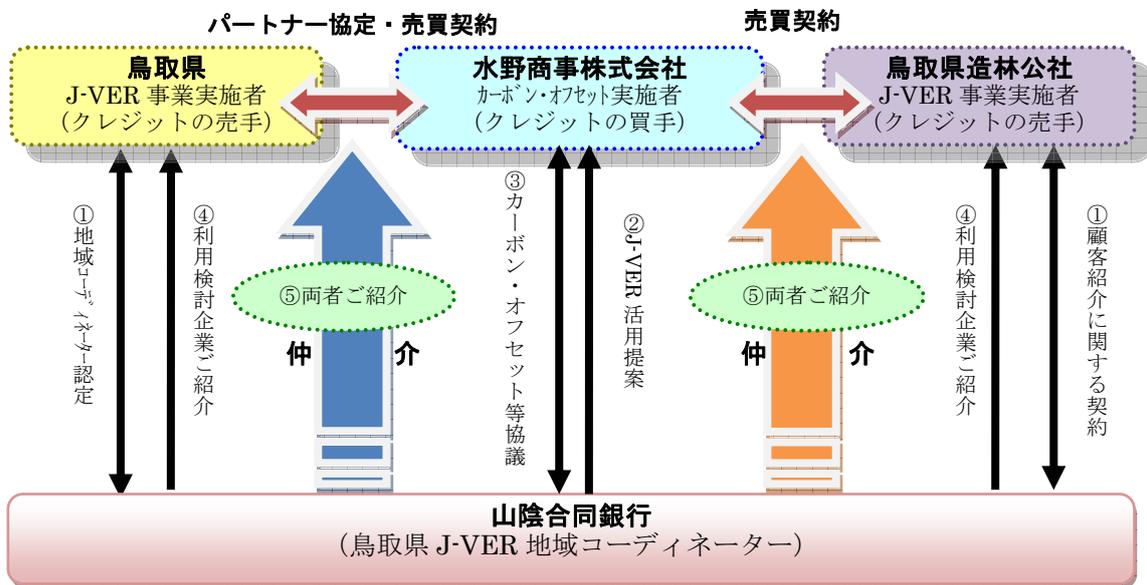
(別紙)

<調印式の概要>

- (1) 日 時： 平成24年2月13日(月) 10時05分~10時30分
- (2) 場 所： 鳥取県 知事公邸 第一応接室
- (3) 出席者： (敬称略)
<鳥取県>
知事 平井 伸治
<水野商事株式会社>
代表取締役 水野 一水
※以上は調印者
<当行>
代表取締役専務執行役員 石丸 文男
- (4) 式次第： ①開会/出席者紹介(概要説明)
②調印者署名(写真撮影)
③調印者挨拶(平井鳥取県知事、水野代表取締役)
④経緯・取組説明(株式会社山陰合同銀行)
⑤質疑応答
⑥閉会

以上

【全体図】



<本件取組で期待される効果>

- ① J-VER 制度並びに環境保護に対する地域社会への浸透
- ② 鳥取県内の森林整備・育成に関する取組の面的広がりへの貢献
- ③ 従業員への環境意識向上のきっかけ作り
- ④ 水野商事株式会社の環境配慮型経営の実践と PR